

信州消防団員応援ショップ事業

地域の安全・安心のために献身的に活動する消防団員に感謝の気持ちを表し、地域を挙げて応援するために、**県内の 1,342 店舗・施設等**（平成 30 年 4 月 1 日現在）に協賛をいただき、全県の消防団員とその家族等を対象に、割引サービスや特典を提供しています。

県において店舗登録申込の受付や検索サイトへの掲載、市町村において消防団員カードの配布・管理、登録店舗等において消防団員への割引サービスや特典の提供を行っています。

この事業は、消防庁の平成 27 年度『女性や若者をはじめとする消防団加入促進モデル事業』に採択されました。

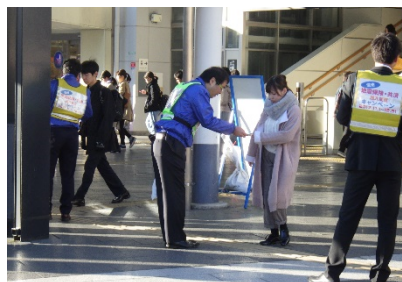


多くの店舗の協力により**消防団員の皆さんに割引サービスや特典を提供することができました。**

地震保険・共済加入促進

万が一の災害時、住宅再建支援には多額の費用がかかります。地震保険・共済制度がありますが、長野県内の加入率は低い状況です。

平成 29 年 7 月に、長野県を含む 7 団体で「**信州地震保険・共済加入促進協議会**」を設立し、街頭で啓発物品を配布したほか（H29.11）、セミナーを開催しました（H30.2）。



- ・（一社）日本損害保険協会北関東支部 長野損保会
- ・（一社）長野県損害保険代理業協会
- ・全国共済農業協同組合連合会長野県本部
- ・長野県農業共済組合
- ・全国労働者共済生活協同組合連合会 長野県本部
- ・生活協同組合コープながの



損保・共済といった事業者の枠を超え、官民共同の取組を行うことにより、**長野県における地震リスクを正しく理解していただく機会を設けることができました。**

地域づくりサミット^(仮)

「仮」を含めて正式名称です。

県と地域づくりネットワーク長野県協議会が共催し、個々にネットワークを持っていた地域づくり団体や個人について、その垣根を越えて一堂に会し交流する機会を創出しました。

イベントの日時と場所のみ県で決め、内容についてはプロジェクトチーム（PT）を立ち上げ、計5回にわたり検討し、当日の運営も行いました。

PTメンバー：地域づくりネットワーク長野県協議会 2名
信州元気づくり実践塾卒塾生 3名
地域おこし協力隊 OBOG 3名 県3名



- ・イベント当日（H30.2.12）は、テーマ別にブースを設けて、ゲストスピーカーによるプレゼンとトークセッションの他、ゲストスピーカーと参加者が混ざっての意見交換を行いました。
- ・会場は長野市でしたが、県内各地から様々な年代の方に参加していただきました。現場で試行錯誤しながら様々な取り組みをされているゲストスピーカーと、双方向で話ができるようにしたことが、成果につながったと思います。



PTメンバーの企画により、15組のゲストスピーカーが集まり、さらにそのつながりで、**県内各地から幅広い年代の方々に参加いただき交流が図られました。**

セイジ・オザワ 松本フェスティバルの共催

小澤征爾氏とサイトウ・キネン・オーケストラを主体とする音楽家による、セイジ・オザワ 松本フェスティバルの開催を支援しました。

**主催：セイジ・オザワ 松本フェスティバル実行委員会、
(公財) サイトウ・キネン財団**

共催：松本市、長野県



(C) 山田 毅

- ・平成4年（1992年）から松本市において開催され、平成29年（2017年）で26回目を迎えました。
- ・世界中から優れた音楽家たちが結集し、サイトウ・キネン・オーケストラを中心にオペラやコンサートなど多彩な演目を披露しています。
- ・県内の小学6年生を対象とした「子どものための音楽会」や中学校1年生を対象とした「子どものためのオペラ」など、未来を担う青少年を対象とした教育プログラムや、県内各地及び県外でも実施するスクリーンコンサートなど、様々な関連事業を実施しています。
(平成29年度の鑑賞者数：85,524人)



県民の皆様の世界最高水準の音楽鑑賞の機会を提供することができました。

スポーツ組織との連携事業

スポーツを通じ、若年層を中心に人権意識高揚を図るため、平成25年度から、県内プロスポーツ4チームと連携した人権啓発活動を行っています。

**信濃グランセローズ、松本山雅FC、AC長野パルセイロ、
信州ブレイブウォリアーズ**



- ・各チーム一人（選手、元選手等）に人権大使をお願いし、毎年7月に設定している「人権について考える強調月間」では、人権大使を起用してのテレビCMによる啓発を実施しています。
- ・主催試合において、「人権スペシャルマッチ」と銘打つ冠試合・人権特別啓発試合を開催していただき、あわせて、人権啓発横断幕の掲出、選手による直筆人権メッセージの展示や、人権啓発のPR動画を放映するなどの人権啓発を実施しています。
(啓発試合における観客動員数：計延べ32,120人)



スポーツ組織と連携することにより、若年層・親子連れ等幅広い年齢層の方々に、
フェアプレーを通じた人権意識向上のメッセージをお伝えすることができました。

人権×長野美術専門学校ポスターデザインプロジェクト

長野美術専門学校と連携して、平成 25 年度から人権課題をテーマにした啓発ポスターを作成しています。

このプロジェクトは、長野美術専門学校の社会学連携活動の一環です。

12月の人権週間に合わせ、電車の車内で掲示を行ないました。ポスターは県内ショッピングモール等で行う巡回展や、MIDORI長野3階りんごのひろばで展示しました。また、希望のあった市町村等に貸出しを行うなど、さまざまな機会を捉え、広く啓発に活用しました。

学生自身の人権に対する意識が高まり、完成したポスターはクオリティーの高いものばかりです。りんごのひろばでの展示は非常に好評でした。



学生の皆様が人権について学び、考え、作成したポスターを通じて、**広く県民の皆様へ人権問題について考える機会をつくることができました。**

スポーツを中心とした中国との青少年交流事業

長野県、河北省及び北京市が、冬季オリンピック開催という共通点を持つことから、青少年の冬季スポーツ交流を行うことを合意しています。

長野県では河北省、北京市より選抜されたスキー、アイスホッケー等のジュニア選手を迎え入れ、合同練習、競技会等を行い、相互交流、競技力の向上を図りました。

長野県日中友好協会、軽井沢日中友好協会、長野県スキー連盟、長野県アイスホッケー連盟、野沢温泉村、軽井沢町、野沢温泉村教育委員会、軽井沢町教育委員会、株式会社野沢温泉



- ・河北省冬季スポーツ競技責任者、北京市・河北省アルペンスキー・ジュニア選手団、北京市アイスホッケー・ジュニア選手団を長野県に迎え入れました。
- ・天然雪 100%のスキー場での合同練習を通じ、中学生同士の相互理解や友情を深めることができ、友好促進と競技力を高め合うことができました。
- ・軽井沢中学校では、歓迎式や合同給食を通じて交流をしました。また、交流大会では、同年代のジュニア選手同士で戦い、友情を深めました。



団体や他の行政機関と連携することにより、**幅の広い交流事業を展開することができ、信州の魅力をPRすることができました。**

ホストタウン長野県実行委員会事業

県は4市2町と共同で、中国を相手国とし、2020東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録（国の登録）を受けています。行政のほか関係団体を構成員とする実行委員会を立ち上げ中国との交流事業等を実施しています。

長野市、上田市、須坂市、飯山市、下諏訪町、山ノ内町
長野県日中友好協会、長野県体育協会、長野県障がい者スポーツ協会、
長野県立大学、長野大学、清泉女学院大学・短期大学等



- 「ホストタウン指導者養成講座」(H29.4) (写真)
地域の友好交流活動を推進するリーダーの養成講座
- 「ホストタウン NAGANO キックオフイベント」(H29.8)
県内のパラリンピアンによる講演・交流会
- 「ホストタウン NAGANO 中国事情紹介講座」(H30.3)
中国事情に詳しい有識者と中国大使館関係者による講座
- 中国の友好都市、学校間交流、公民館を活用した中国文化体験講座



行政による友好都市との交流をはじめ、学校交流、友好交流団体による草の根交流など**官民を挙げた中国との友好交流活動を展開することができました。**

婚活サポーター事業

若者の結婚に向けた活動（婚活）を応援し、出会いの機会の拡大を推進する「婚活サポーター」を県民から募集・認定し、地域における婚活を支援する事業です。

婚活サポーターには**一般県民**を対象とした「しあわせ信州婚活サポーター」の他に、**企業や団体**を対象とした「しあわせ信州婚活応援団」、社内の婚活を応援する企業の方を対象とした「社内婚活サポーター」があり、それぞれの立場で活躍していただいています。



婚活サポーターとして 1185 人の方々（平成 25 年 7 月からの累計）に支えていただきました。

平成 29 年度のお見合い件数は 395 件で、**33 組が成婚**となりました。



地域や企業が若者の婚活を支援することにより、**身近な場所で多様な出会いの機会をつくることができました。**

信州こどもカフェ推進 地域プラットフォーム構築・運営事業

「信州こどもカフェ」を普及・拡大させるため、**子育て支援団体、社協、県的団体の地域組織、ボランティア、市町村等**の多様な主体により構成され、地域が一体となって子どもの居場所づくりを推進するための連携・支援組織「地域プラットフォーム」の構築・運営を 10 広域ごとに実施しました。



- ・「信州こどもカフェ」とは
地域の大人と子どもとのあたたかなつながりの中で、子どもたちの成長を支え、子どもたちに困難を乗り越えて自立する力を付けてもらうため、学習支援、食事提供、悩み相談、学用品のリユース等により家庭機能を補完する複数の機能を持つ子どもの居場所の総称（愛称）
- ・「地域プラットフォーム」の役割
 - 情報交換、連携・協働を促進する協議・交流の場
 - こどもカフェの担い手確保・育成や運営支援



これまで個々に活動していた団体や立ち上げたばかりの団体等が繋がることで、**こどもカフェの立ち上げ等に役立てていただくことができました。**

産学官インターンシップ支援事業 海外インターンシップ支援事業

H27 年度、産学官協働によるプラットフォーム「信州産学官ひとづくりコンソーシアム」の体制を整えました。**県内企業と県内大学・短期大学**とが協働し、次代の長野県を担う人材の育成に向け、インターンシップの拡充に取り組んでいます。

○産学官インターンシップのマッチング
企業と応募学生のマッチングを経て 37 名の学生が県内企業でのインターンシップへ参加しました（29 年度実績）。

○海外インターンシップに対する支援（写真）
大学生海外インターンシップ支援事業では、8 社より 65 万円の寄附金を受入れ、17 名の学生が県内企業の海外事業所でのインターンシップへ参加しました（29 年度実績）。
また、インターンシップ参加後、中島副知事に成果を報告しました。



産学官が連携することにより、**参加企業及び参加学生の拡大**につながりました。